



2022年2月3日

各位

会社名株式会社雪国まいたけ
代表者名代表取締役社長足利 巖
(コード：1375、東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営企画本部長 兼 経営企画部長
櫻井 威典
(TEL. 025-778-0162)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	収 益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 51,553	百万円 7,434	百万円 6,982	百万円 4,581	百万円 4,581	円 銭 114.80
今回修正予想(B)	46,911	5,018	4,565	2,949	2,949	73.89
増減額(B-A)	▲4,642	▲2,415	▲2,417	▲1,632	▲1,632	▲40.91
増減率(%)	▲9.0%	▲32.5%	▲34.6%	▲35.6%	▲35.6%	▲35.6%
(参考)前期連結実績(2021年3月期)	51,380	7,823	7,125	4,740	4,744	119.03

2. 修正の理由

国内経済は、足元では新型コロナウイルス変異株の感染急拡大による経済活動の停滞等、依然として大変厳しい状況が続いております。当社事業を取り巻く環境は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や節約志向の高まりが続いております。また、きのこの最需要期である秋口の気候が比較的温暖であったため、きのこ全体で秋以降の消費が鈍く、国内きのこ市場は全体的に低調に推移する中、同業他社の新工場の稼働・出荷や原油高騰による材料費やユーティリティ費への影響を考慮し、2022年3月期の通期業績予想を上記のように修正いたしました。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上